

かわにし未来ビジョン(第5次川西町総合計画)後期基本計画

第2期川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

将来像 **緑と愛と丘**のあるまち

基本目標 **夢と愛を未来につなぐまち** ～ 田園回帰の時代の流れの中で ～

テーマ 「協働」そして「共創」へ

視 点		
ひとづくり	ちいきづくり	しごとづくり
分 野 別 目 標		
「集まる」まちをつくる	「楽しい」まちをつくる	「挑戦する」まちをつくる
分野ごとの施策の柱と施策		
施策の柱① 未来を担うひとづくり 施策1 まちづくりを支える人材の確保・育成 施策2 人をつなげる交流の促進 施策3 心を豊かにする学びの促進 施策の柱② 女性が輝く社会づくり 施策1 女性の能力が発揮しやすい環境の整備 施策2 誰もが安心して暮らせる環境の整備 施策の柱③ 子どもが夢を持ち健やかに育つ環境づくり 施策1 子育て環境の充実 施策2 地域・家庭・学校が連携した教育の推進 施策3 幼児・児童・生徒の学び力の育成 施策4 健やかに育む教育環境の充実 施策の柱④ 生涯現役で生活できる健康元気づくり 施策1 心と体の健康づくりの推進 施策2 地域医療の充実 施策3 地域福祉の推進 施策4 高齢者福祉の充実 施策5 障がい者(児)福祉の充実 施策の柱⑤ 川西ブランドづくり 施策1 地域資源の評価と共有 施策2 川西ブランドの構築と活用	施策の柱① 地域を支える自立したコミュニティづくり 施策1 地域づくりの推進 施策2 地域コミュニティの維持 施策の柱② 快適で住みよい環境づくり 施策1 多様な住宅環境の整備 施策2 総合的な雪対策の充実 施策3 住みやすい環境づくりの推進 施策4 暮らしを支えるインフラの維持 施策の柱③ 時代に応じた都市機能づくり 施策1 医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進 施策2 中心市街地の活性化 施策の柱④ 安全で機能的な交通ネットワークづくり 施策1 幹線道路ネットワークの整備促進 施策2 生活道路等整備促進 施策3 生活公共交通の確保 施策の柱⑤ 安全安心な暮らしづくり 施策1 防災体制の充実 施策2 安心な生活環境づくりの推進	施策の柱① 豊かさをもたらす強い農業づくり 施策1 戦略的農業経営の確立 施策2 安定した生産体制の確立 施策の柱② 相互に連携する産業づくり 施策1 産業間ネットワークの促進 施策2 にぎわいのある商業の振興 施策3 ものづくりを育む工業の振興 施策の柱③ 多様な仕事を生み出す戦略づくり 施策1 企業誘致の促進 施策2 起業家の発掘・育成 施策3 産学官金労言連携の促進 施策4 再生可能エネルギーの利活用 施策の柱④ 魅力ある観光づくり 施策1 ふれあいの丘の機能充実 施策2 広域的な観光資源活用と連携強化 施策3 効果的な観光情報発信の強化 施策の柱⑤ 効果的で効率的な行政運営づくり 施策1 公共施設の計画的な整備 施策2 行財政改革の推進 施策3 広域行政の推進

プロジェクト／第2期川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略

リーディングプロジェクト **メディカルタウン整備推進プロジェクト**

戦略① 定住人口の創出 戦略② 民間施設の誘致促進

地域経済活性化プロジェクト

戦略① 農業所得の向上と担い手の育成
戦略② 雇用の創出
戦略③ 魅力ある観光
戦略④ 中心市街地の活性化

移住・定住・交流促進プロジェクト

戦略① 若者世代の定着
戦略② 移住・定住支援の充実
戦略③ 暮らしやすいまちづくり
戦略④ 交流・関係人口の拡大

男女共同参画推進プロジェクト

(第4次川西町男女共同参画推進計画)

戦略① 男女共同参画意識の醸成
戦略② 能力を発揮し活躍できる環境の整備
戦略③ 健康で豊かに暮らせる環境の整備

町民総活躍プロジェクト

戦略① 多様な人材の活躍促進
戦略② 生きがいづくりと健康寿命の延伸
戦略③ 置賜農業高等学校の魅力化

安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

戦略① 災害に強いまちづくり
戦略② 感染症等による新たな日常への対応

プロジェクトは、施策を横断し重点的に推進

人口減少克服・地方創生
【2040(令和22)年人口目標 12,000人】

人口ビジョンにおける人口推計

人口ビジョンは、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものであり、総合戦略を策定するうえで重要な基礎となるものです。

下記によるシミュレーション(パターン3)により、2015(平成27)年度に策定した人口ビジョンと同様、2040(令和22)年の定住人口12,000人を目標とします。

- パターン1 国立社会保障・人口問題研究所による2017(平成29)年度推計値
○パターン2 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇したと仮定した場合
○パターン3 合計特殊出生率を国が長期的な見通しで仮定値とした2020(令和2)年には1.6程度、2030(令和12)年以降は1.8程度を維持した場合、かつ人口移動がゼロと仮定した場合

